

# 「樋脇中学校の樋脇武士踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

薩摩川内市立樋脇中学校

## 2 学年・人数

1年生 25人

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

8月27日(木)・28日(金) 19:30~21:00

塔之原4区コミュニティセンター

10月~11月 樋脇中学校体育館

### (2) 発表の日時・場所

11月3日(火) 9:00~10:00 樋脇文化祭

11月6日(金) 9:20~15:25 樋脇中学校文化祭

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

### (1) 名称

樋脇武士踊り(ひわきぶしおどり)

### (2) 由来

1781年に始まり、234年間続いている。島津光久が父を供養するために創った踊り。

### (3) 構成等

太鼓

いでこ：牛の皮で作られている。

かね：合金で作られている。

## 5 保存会や地域との連携の具体

樋脇文化協会を通じて保存会を紹介していただいた。発表の場として校内の文化祭と樋脇文化祭の2回を設定し、保存会と練習日程の打ち合わせをした。樋脇文化祭の出番は部活動の大会出場との関係等から樋脇文化協会にお願いし、午前中の早い時間帯に組んでいただいた。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

太鼓等の道具類は練習期間中運搬が大変なため、本校で保管し、本校を練習会場とした。

単に、練習だけではなく、座談会を設け、保存会の方々と交流を図った。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【座談会】



【練習】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【生徒の感想】

- 武士踊りという伝統的な踊りが樋脇にあることに驚いた。
- 文化祭で発表し、武士踊りのすごさを伝えることができてよかった。
- 最初は不安だったけど、最後は上手にできた。

### 【保護者の感想】

- 楽しい活動だったようで、座談会のことや練習の時のことを家庭で話してくれました。家でも動きやリズムの練習をしていました。樋脇文化祭や中学校の文化祭での発表を地域の人たちは喜んでくれていました。

### 【保存会の意見】

- 短い期間で不安はありましたが、生徒たちが一生懸命取り組んでくれて、本番は立派な発表をしてくれたと思います。生徒たちに樋脇のことを学んでもらえたことは私たちの喜びです。

### 【教職員の感想】

- 保存会の皆様が丁寧に教えてくださり、生徒たちも一生懸命で、取組を充実させることができた。衣装等を揃えることができれば、もっと見栄えがよくなり、立派な発表になると思う。